

第3号議案

公益目的支出計画実施報告書承認の件

平成24年3月31日を算定日とする公益目的財産額が47,754,614円と確定されました。当協会の公益目的支出計画の実施事業会計の赤字2,854,443円で、財産額を割ると17年になります。当協会は、47,754,614円という財産で17年に渡って、実施事業会計の赤字を補填することになりました。

実施事業会計が赤字であっても、その他会計、法人会計が黒字で、実施事業会計の赤字と同額以上であれば当協会の財産が減ることはありません。

平成24年度から令和2年度までの9年経過後の計画上の公益目的財産残額は、22,064,627円です。9年間の実績による公益目的財産残額は、20,340,208円で差額が1,724,419円であり、公益目的支出計画に影響はないと考えています。

	計画		実績	
	実施事業会計 の赤字	公益目的財産 残額	実施事業会計 の赤字	公益目的財産 残額
平成24年3月31日		47,754,614		47,754,614
平成24年度	2,854,443	44,900,171	2,838,902	44,915,712
平成25年度	2,854,443	42,045,728	2,712,142	42,203,570
平成26年度	2,854,443	39,191,285	2,939,640	39,263,930
平成27年度	2,854,443	36,336,842	2,239,203	37,024,727
平成28年度	2,854,443	33,482,399	3,042,322	33,982,405
平成29年度	2,854,443	30,627,956	3,958,993	30,023,412
平成30年度	2,854,443	27,773,513	3,520,906	26,502,506
平成31年度	2,854,443	24,919,070	3,776,494	22,726,012
令和2年度	2,854,443	22,064,627	2,385,804	20,340,208
計	25,689,987		27,414,406	

※1 実施事業会計・・・ビルメンテナンス協会が行う各種講習会、研修会、講演会などの事業

※2 その他会計・・・ビルメンテナンス協会親睦、友好に関する事業

【別紙2:公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【 令和 2 年度（ 令和2年4月1日 から 令和3年3月31日 まで）の概要】

1. 公益目的財産額	47,754,614 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額(①+②-③)	27,414,406 円
①前事業年度末日の公益目的収支差額	25,028,602 円
②当該事業年度の公益目的支出の額	9,280,860 円
③当該事業年度の実施事業収入の額	6,895,056 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	20,340,208 円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 ^注	
計画作成時点の見込みに比べ、当該事業年度末日の公益目的収支差額が計画における見込額を上回っているが、公益目的収支差額の計画額との差額は1,724,419円であり、実施期間に関しては影響がないと考える。	

注:詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	①. 計画上の完了見込み	令和11年3月31日
	②. ①より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	47,754,614 円	47,754,614 円	47,754,614 円	47,754,614 円	47,754,614 円
公益目的収支差額	22,835,544 円	25,028,602 円	25,689,987 円	27,414,406 円	28,544,430 円
公益目的支出の額	8,539,443 円	8,284,633 円	8,539,443 円	9,280,860 円	8,539,443 円
実施事業収入の額	5,685,000 円	4,508,139 円	5,685,000 円	6,895,056 円	5,685,000 円
公益目的財産残額	24,919,070 円	22,726,012 円	22,064,627 円	20,340,208 円	19,210,184 円

※前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

(2)[公益目的支出計画実施報告書]

【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容
継 1	建築物における衛生的環境の確保に関する事業

(1) 計画記載事項

事業の概要
<p>1-1 事業の趣旨・目的・まとめた理由 この法人は、ビルにおける衛生的で健康かつ快適なる生活環境の保持増進を図るため、建築物における衛生的環境の確保に関する正しい専門的知識と技能の普及を促進し、もって公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。なお、これまで実施していた事業については、上記目的により、1つにまとめた。</p> <p>1-2 事業の内容</p> <p>(1)ビルメンテナンスに関する知識及び技術の調査研究</p> <p>ア 病院清掃研修会及び県立病院試験対策直前研修会 病院清掃研修会及び県立病院清掃試験に向けて研修会を実施している。 平成22年度 平成23年 2月24日 場所:沖縄県卸商業団地協同組合会議室 受講者数: 25名 受講料: 2,000円 平成23年度 平成24年 2月20日 場所:九州沖縄トラック研修会館(予定) 受講者数: 30名 受講料: 2,000円</p> <p>イ 県立病院の清掃品質検査を実施し、衛生的環境・美観・院内感染対策、有効な施設の維持や品質向上を図っている。 (平成22年度、平成23年度同じ) 県内6病院で、品質検査を実施している。 (ア)南部医療センター・こども医療センター 品質検査日 平成22年9月10日 平成23年9月9日 (イ)北部病院 品質検査日 平成22年9月10日 平成23年9月9日 (ウ)中部病院 品質検査日 平成22年9月10日 平成23年9月9日 (エ)精和病院 品質検査日 平成22年9月10日 平成23年9月9日 (オ)八重山病院 品質検査日 平成22年9月30日 平成23年9月29日 (カ)宮古病院 品質検査日 平成22年10月1日 平成23年9月30日</p> <p>(2)ビルメンテナンスに関する教育、訓練及び研修</p> <p>ア ビルメンテナンス業従事者の教育・訓練に関する事業 厚生労働大臣の登録を受けて、ビルメンテナンス業のうち、清掃業、ねずみ昆虫防除貯水槽清掃業に従事する人たちを対象に研修する。</p> <p>(ア) 防除作業従事者研修会 平成22年度 平成22年11月22日 場所:那覇地域職業訓練センター 受講者数: 53名 受講料: 5,000円 平成23年度 平成23年11月2日 場所:那覇地域職業訓練センター 受講者数: 49名 受講料: 5,000円</p> <p>(イ) 掃作業従事者研修会 平成22年度 平成22年9月17日 場所:名桜大学研修・会議室 受講者数: 15名 受講料: 5,000円 平成22年10月13日 場所:ポリテクセンター沖縄 受講者数: 24名 受講料: 5,000円 平成22年11月26日 場所:九州沖縄トラック研修会館 受講者数: 18名 受講料: 5,000円 平成23年度 平成23年9月8日 場所:名桜大学研修・会議室 受講者数: 17名 受講料: 5,000円 平成23年10月4日 場所:ポリテクセンター沖縄 受講者数: 23名 受講料: 5,000円 平成23年11月16日 場所:九州沖縄トラック研修会館 受講者数: 22名 受講料: 5,000円</p> <p>(ウ) 貯水槽清掃作業従事者研修会 平成22年度 平成22年12月9日 場所:浦添市産業振興センター 受講者数: 59名 受講料: 5,000円 平成23年度 平成23年11月28日 場所:浦添市産業振興センター 受講者数: 93名 受講料: 5,000円</p> <p>イ 清掃作業従事者研修指導者講習会(企業内講師講習会) 建築物清掃業及び建築物環境衛生総合管理業の登録事業者は建築物衛生法に定める「登録に必要な人的要件」を満たすための研修として、自ら清掃作業従事者研修を実施するか、登録を受けた研修団体による研修を受けることになっているが、企業自ら実施する従事者研修の指導者が少ないことから、事業者の従事者研修指導者の養成のための講習会を実施している。 平成22年度 平成22年10月13日・15日 場所:ポリテクセンター沖縄 受講者数: 39名 受講料: 10,000円 平成23年度 平成23年10月5日・6日 場所:ポリテクセンター沖縄 受講者数: 80名 受講料: 10,000円</p>

ウ ドライクリーニングシステム講習会

セラミックタイルのメンテナンスや最新の洗剤・ポリッシュ等の講習会を実施

平成22年度 平成22年 8月19日 場所:九州沖縄トラック研修会館
受講者数: 20名 受講料: 10,000円

平成23年度 平成23年 8月19日 場所:九州沖縄トラック研修会館
受講者数: 17名 受講料: 10,000円

エ カーペットクリーニングシステム講習会

カーペットクリーニングのメンテナンスに対する知識や技術の向上を図るため講習会を実施

平成22年度 平成23年 2月 8日 場所:ポリテクセンター沖縄
受講者数: 30名 受講料: 6,000円

平成23年度 平成24年 2月15日 場所:九州沖縄トラック研修会館(予定)
受講者数: 30名 受講料: 6,000円

オ ビルクリーニング技能検定講習会

ビルクリーニングに関する基本的な知識・技術をマスターするため講習会を実施

平成22年度 平成22年10月・11月・1月 場所:ポリテクセンター沖縄
受講者数: 17名 受講料: 5,000円

平成23年度 平成23年10月・11月・1月 場所:ポリテクセンター沖縄
受講者数: 46名 受講料: 5,000円

カ ビルクリーニング技能検定自主学习

ビルクリーニング技能検定を受検する人に、ビルメンテナンス協会会館3館を開放し、1日当り1,000円で、練習させている。

平成22年度 53名

平成23年度(予定) 126名

キ ビルメンテナンス業の講師のレベルアップを図る事業

(平成22年度、平成23年度同じ)

イ.ドライクリーニング講師、福岡で2名研修

ロ.防除講師、神奈川で1名研修

ハ.貯水槽清掃講師、名古屋で3名研修

ニ.カーペット講師、横浜で2名研修

ホ.協会講師・登録講師、福岡で2名研修

ク (社)沖縄県シルバー人材センター連合からの受託事業

60歳台前半層を対象として、清掃スタッフ講習を実施している。

平成22年度 平成22年 9月1～8日 場所:浦添ハーモニーセンター
受講者数: 19名 受託料: 231,500円

平成23年度 平成23年 9月13～29日 場所:浦添ハーモニーセンター
受講者数: 21名 受託料: 317,000円

ケ 各種講習会テキスト販売

平成22年度収入 418,470円

平成23年度(予定) 120,000円

(3)ビルメンテナンス業の育成

ア 現地教育事業(安全パトロール等)

労働安全委員会で実施

・沖縄県内の設備・清掃などの体制チェック、資材置き場をチェック、点検アドバイスをする。

・ガラス清掃作業については、会員・非会員にかかわらずガラス清掃のゴンドラ作業、ブランコ作業の現場を視察し、安全点検をし、安全作業の遂行のため、安全意識の向上、安全対策の強化の指導を行う。

平成22年度 平成22年 8月10日 場所:沖縄市民会館施設

平成23年度 平成23年 8月12日 場所:那覇空港施設

イ 建築物排水管清掃作業従事者研修の運営事業

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会と一般社団法人全国管理洗浄協会が実施する建築物排水管清掃作業従事者研修の運営業務を行う。

平成22年度 平成22年11月25日 場所:那覇地域職業訓練センター
受託料: 20,000円

平成23年度 平成23年 7月 7日 場所:那覇地域職業訓練センター
受託料: 20,000円

ウ 安全衛生、労務管理セミナーの開催に関する事業

ビルメンテナンス業に最も関係の深い「安全と教育」等についてセミナーを開催する。

平成22年度「労務管理者のための労働法務について」 平成23年 2月10日
場所:九州沖縄トラック研修会館 参加 37名

平成23年度「労務管理者・現場責任者のための救命講習」平成24年 2月14日
場所:九州沖縄トラック研修会館(予定)参加 40名

エ 財団法人ビル管理教育センターが実施する講習会の運営事業

平成22年度 受託料: 1,928,000円

平成22年 7月1日～23日 建築物環境衛生管理技術者講習会

場所:浦添市産業振興センター

平成22年 11月2日 空調排水管理監督者再講習会

場所:浦添市産業振興センター

平成23年度 受託料: 706,000円

平成23年 5月31日・6月1日 清掃作業監督者再講習会

空調環境測定実施者再講習会

場所:浦添市産業振興センター

平成23年 6月9日・10日 防除作業監督者再講習会

総括管理者再講習会

場所:浦添市産業振興センター

オ 公益社団法人全国ビルメンテナンス協会が実施するビルクリーニング技能検定試験の申込手続きを1人500円で受託している。

平成22年度 17名
平成23年度(予定) 30名

(4)ビルメンテナンスに関する知識の普及啓蒙及び広報活動

ア 沖縄県教育委員会と特別支援学校が実施する建物の清掃に係る教科及び作業学習等に関し協定を締結し、協会が、学校に講師を派遣し、教員の技術指導を行ったり、研修プログラムや、教材の提供を行っている。

(平成22年度、平成23年度同じ)

イ「講演会」に関する事業

政治経済の変動を見つめながら、ビルメンテナンス市場における経営実態に関するタイムリーな話題を取り上げ、講演会、研修会を開催する。

平成22年度「ビルメンテナンスフェア'10」平成22年11月5日

「我喜屋監督に学ぶ人間教育」場所：沖縄県立博物館・美術館講堂

平成23年度「第8回環境衛生シンポジウム」平成23年11月15日

「建築物衛生法施行から40年」場所：沖縄県立博物館・美術館講堂

ウ 労働衛生大会に関する事業

労働衛生意識向上のため啓蒙の一環として、沖縄労働局の指導により、各事業場の実態に即した、継続的で、かつ有効な活動がなされるよう、沖縄労働局の指導の下にスローガンを定め、非会員事業所にも呼びかけ、経営者、担当者、企業の衛生責任者、職場責任者の参加を求めて、実施する。

平成22年度「琉球歴史の謎とロマン」平成22年10月7日

場所：那覇地域職業訓練センター 参加 109名

平成23年度「メンタルヘルス対策について」平成23年10月25日

場所：那覇地域職業訓練センター 参加 95名

エ ホームページに関する事業

講習会、研修会等の案内・募集案内の掲載をする。

オ 広報誌「美らら沖縄」の発行に関する事業(年2回発行)

協会活動やビルメンテナンス業や労働問題など、タイムリーな話題を掲載している。

平成22年度1月・8月 1,000部発行

平成23年度1月・8月 1,000部発行

1-3 必要となる施設

ビルメンテナンス協会会館3階、下記の施設を賃借しています。

那覇地域職業訓練センター、ポリテクセンター沖縄、浦添市産業振興センター、九州沖縄トラック研修会館、沖縄県卸商業団地協同組合、浦添ハーモニーセンター、名城大学研修・会議室、沖縄県立博物館・美術館講堂

1-4 必要となる講師

(社)沖縄県ビルメンテナンス協会の会員講師

下記から、講師を派遣してもらっている。

イカリ消毒沖縄株式会社、沖縄県衛生環境研究所、株式会社エフアール、株式会社日本カーペットクリーナーズアカデミー

1-5 事業の対象者

ビルメンテナンス業者、関係団体、関係行政機関、一般市民

1-6 財源 受講料収入、受託料、ビルメンテナンス協会会館3階使用料、テキスト販売収入

① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	6,268,954 円
② 当該事業に係る実施事業収入の見込額	4,376,500 円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について

- 1.ビルメンテナンスに関する教育、訓練及び研修
- (1)ビルメンテナンス業従事者の教育・訓練に関する事業
- ア.防除作業従事者研修会
- イ.清掃作業従事者研修会
- ウ.貯水槽清掃作業従事者研修会
- (2)清掃作業従事者研修指導者講習会(企業内講師講習会)
- ア.清掃指導者(新規)
- イ.清掃指導者(再講習)
- (3)ハードフロアクリーニングシステム講習会
- (4)カーペットクリーニングシステム講習会
- (5)ビルクリーニング技能検定講習会
- ア①ビルクリーニング技能検定事前講習会(実技)
- ②ビルクリーニング技能検定事前講習会(学科)
- ③テキスト販売収入
- イ①ビルクリーニング技能検定補足講習会(実技)
- ②ビルクリーニング技能検定補足講習会(学科)
- ③ビルクリーニング技能検定補足講習会(実技)
- ウ①ビルクリーニング技能検定直前講習会(実技のみ)

エビルクリーニング技能検定自主学習 オビルクリーニング技能検定特別講習会【九州QEC主催】 カビルクリーニング技能検定 (6)基礎級ビルクリーニング研修会 (7)基礎級ビルクリーニング技能検定試験 (8)随時3級ビルクリーニング技能検定試験 (9)公益社団法人沖縄県シルバー人材センター連合からの受託事業 3.ビルメンテナンス業の育成 (1)現地教育事業(安全パトロール等) (2)公益財団法人日本建築衛生管理教育センターが実施する講習会の運営事業 4.ビルメンテナンスに関する知識の普及啓蒙及び広報活動 (1)沖縄県教育委員会と特別支援学校が実施する建物の清掃に係る教科及び作業学習等に関し協定を締結し、協会が、学校依頼の生徒就業体験指導を会員通じて指導を行った。 (2)特別支援教育充実事業に係る清掃講習への講師派遣 ①対象:特別支援学校指導者研修会 ②対象:大平特別支援学校 (3)令和元年度沖縄県特別支援学校技能検定へ審査員派遣 (4)「第16回環境衛生シンポジウム」に関する事業 (5)ホームページに関する事業 (6)広報誌「美らら沖縄」の発行に関する事業(年1回発行)	
① 当該事業に係る公益目的支出の額	9,280,860 円
② 当該事業に係る実施事業収入の額	6,895,056 円
③ (①-②)の額	2,385,804 円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	9,280,860 円
⑤ 当該事業に係る損益計算書の収益の額	6,895,056 円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^{注1}	
計画作成時点の見込みに比べ実施事業収入及び公益目的支出が上回った。当該事業年度末日の公益目的収支差額の計画額より上回った額は1,724,419円であり、実施期間に関しては、影響がないと考える。	

注1:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

(3) 実施事業資産の状況等

番号 ^{注2}	資産の名称	時価評価資産の 算定日の時価	移行後に 取得した場合の 取得価額	前事業年度末日 の帳簿価額	当該事業年度 末日の帳簿価額	使用の状況
イ	1 土地(那覇市2丁目 27-7,27-9)	11,423,748 円	円	12,066,000 円	12,066,000 円	計画通り引き続き該当事業で使用
a	1 建物(ビルメン会館)	円	円	5,237,124 円	4,911,612 円	計画通り引き続き該当事業で使用
a	2 建物(改装費)	円	円	1 円	1 円	計画通り引き続き該当事業で使用
a	3 建物附属設備(電気 設備)	円	円	1 円	1 円	計画通り引き続き該当事業で使用
a	4 建物附属設備(水道 設備)	円	円	1 円	1 円	計画通り引き続き該当事業で使用
a	5 建物附属設備(受水 槽)	円	円	1 円	1 円	計画通り引き続き該当事業で使用
a	8 什器備品(ブラインド)	円	円	1 円	1 円	計画通り引き続き該当事業で使用
a	9 什器備品(門扉)	円	円	1 円	1 円	計画通り引き続き該当事業で使用
a	10 什器備品(プレハブ)	円	円	23,201 円	17,402 円	計画通り引き続き該当事業で使用
a	11 什器備品(応接用 テーブル)	円	円	1 円	1 円	計画通り引き続き該当事業で使用
a	12 什器備品(応接用イ ス4脚)	円	円	4 円	4 円	計画通り引き続き該当事業で使用
a	13 什器備品(パーティ ション)	円	円	9,243 円	4,624 円	計画通り引き続き該当事業で使用
a	14 什器備品(タイルカー ペット)	円	円	1 円	1 円	計画通り引き続き該当事業で使用
a	15 什器備品(プレハブ)	円	円	714,026 円	684,628 円	計画通り引き続き該当事業で使用
a	17 什器備品(エアコン)	円	円	1 円	1 円	計画通り引き続き該当事業で使用
	什器備品(エアコン)	円	432,000 円	83,304 円	11,160 円	平成27年事業年度より該当事業で使用
	ソフトウェア(財務応 援Ai)	円	883,872 円	44,196 円	0 円	平成27年事業年度より該当事業で使用
	什器備品(空調設備2 台)	円	864,000 円	346,968 円	202,680 円	平成28年事業年度より該当事業で使用
	建物(シャッター駐車 場)	円	1,375,000 円	1,370,417 円	1,342,917 円	平成31年事業年度より該当事業で使用
	什器備品(プレハブ 屋根張替工事)	円	400,000 円	396,067 円	372,467 円	平成31年事業年度より該当事業で使用
	什器備品(データバッ クアップ装置)	円	382,800 円	376,420 円	299,860 円	平成31年事業年度より該当事業で使用

	什器備品(デジカメレコーダー装置)	円	352,000 円	円	310,934 円	令和2年事業年度より該当事業で使用
--	-------------------	---	-----------	---	-----------	-------------------

注2:算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2・a1・など)を記載してください。

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の収益の額	②実施事業収入の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{注3}
受講料収入	6,895,056 円	6,895,056 円	別紙のとおり
	円	円	
計	6,895,056 円	6,895,056 円	

注3:実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の費用の額	②公益目的支出の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{注4}
その他	9,280,860 円	9,280,860 円	異なる費用科目はないため(1)と(2)は、同額である。
	円	円	
計	9,280,860 円	9,280,860 円	

注4:①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

別表A〔公益目的支出計画実施報告書〕

【公益目的支出計画実施期間中の収支の見込みについて】

(1) その他の主要な事業について

変更の内容及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 ^{注1}
事業内容や実施方法に変更はないので、特に記載すべき内容は、ありません。

注1: その他の主要な事業として、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」に記載した事業のうち、その事業の内容や実施方法に変更があった場合に、事業番号、変更の内容、その理由及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。また、新たにその他の主要な事業を開始した場合は、その旨、当該事業の概要及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。なお特に記載すべき内容がない場合はその旨記入してください。

(2) 資産の取得や処分、借入について

実施内容(計画の変更内容)及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 ^{注2}
特に記載すべき内容がない。

注2: 「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載した多額の借入や施設の更新、高額財産の取得・処分等の活動を実施した場合は、公益目的支出計画に与えた影響を記載してください。また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したもののうち、計画内容に変更があった場合に、変更の内容、その理由及び公益目的支出計画に対する影響を記載してください。また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したもの以外で、法人全体の財務に大きな影響を与える活動を新たに予定する場合は、その内容、理由及び公益目的支出計画に対する影響を記載してください。なお特に記載すべき内容がない場合はその旨記載してください。

実施事業収入の額の算定にあたっての考え方

令和2年度受講料収入

(単位:円)

No.	事 業	金 額
1	防除作業従事者研修	356,950
2	清掃作業従事者研修(中部)	93,500
3	清掃作業従事者研修(那覇)	122,760
4	貯水槽清掃作業従事者研修	497,816
5	清掃指導者(新規)	163,450
6	清掃指導者(再講習)	493,786
7	ハードフロアクリーニング講習会	140,800
8	カーペットクリーニング講習会	177,320
9	ビルクリーニング技能検定事前講習会	899,000
10	ビルクリーニング技能検定補足講習会	946,000
11	ビルクリーニング技能検定直前講習会	480,000
12	ビルクリーニング技能検定自主学習	19,000
13	ビルクリーニング技能検定特別講習会	419,600
14	ビルクリーニング技能検定	25,850
15	基礎級ビルクリーニング研修会	363,000
16	基礎級ビルクリーニング技能検定試験	120,725
17	随時3級ビルクリーニング技能検定試験	15,400
18	シルバー連合講習会収入	60,099
19	日本建築衛生管理教育センター	1,500,000
合 計		6,895,056